



# 市民生活のために

予算特別委員会

議案

令和6年度上尾市一般会計予算

今回の予算では、私たちの会派からも繰り返し必要性を訴えてきた子ども医療費無償化の18歳までの拡充や、若年がん患者の在宅療養支援事業、自転車用ヘルメットの購入補助制度などが計上されました。

引き続き、議会からの提案がきちんと予算化されていくよう求めていきます。

## 一般会計の予算規模

予算総額	788.8億円(前年比+54.2億円)
市税収入	328.1億円(前年比+2.6億円)
基金取崩し	39億円(前年比+4.0億円)



## 『政策フォーラム・市民の声あげお』の提案で予算化された事業

### 子ども医療費無償化を18歳まで拡充

令和6年4月診療分から、通院医療費の対象年齢を18才年度末に拡大

1億3,400万円

### 若年がん患者の在宅療養生活を支援

終末期の若年がん患者の在宅療養に必要なサービス利用料の一部補助を開始

200万円

### 自転車用ヘルメットの購入補助制度を創設

自転車利用者のヘルメット購入費の一部を補助(1人あたり上限2千円)

200万円

### 災害時協力井戸制度を開始

災害時の生活用水の確保のため、民間の井戸所有者の協力のもと制度を開始

150万円



## 活動報告



2024年1月~3月



■1月4日  
桶川青年会議所として能登半島地震緊急支援募金活動を実施



■1月18日  
桜井北本市議・佐藤桶川市議が企画した予算審査の学習会に参加



■2月25日  
「日本一の読書のまち」宣言をしている三郷市のブックマーケットを視察

## えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。  
●上智大学法学部卒  
●首都大学東京社会人類学教室修了。  
国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。2017年に上尾市議会議員に当選(現在3期目)。政策フォーラム・市民の声あげお会派代表。環境審議会委員。家族:妻、長男(8才)、長女(7才)、次男(5才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前	ご連絡先
-----	------

ご意見やお困りごとなど

上尾市議会議員(政策フォーラム・市民の声あげお)

# えびはら直矢市政報告



令和6年3月定例会号  
2024.3.25

発行人

海老原直矢  
〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323  
E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/

## 令和6年3月定例会議会報告

- 当初予算 組み替え動議を提出し可決  
2つの事業について市長が見直しを表明
- 委員会 会派で提案した事業が予算化  
子ども医療費・若年がん患者の在宅療養など
- 一般質問 支所でのオンライン相談  
オンライン相談のための支所の体制整備へ

上尾市では初めて予算の組み替え動議が可決され、課題のある事業が見直されました。少しでも良い施策でまいるよう、他の会派と連携をしながら取り組んでいきます。



## 令和6年度上尾市一般会計予算

## 上尾市議会として初めて組み替え動議を可決

総額788.8億円の令和6年度上尾市一般会計予算が市長から提案され、予算特別委員会において5日間にわたって審査を行いました。審査の過程では、設計や評価が甘いと思われる事業が少なからずみられました。これに対し、その代表的な事例として『片品村カーボンオフセット負担金』と部活動地域移行推進事業のうち『イングリッシュサロン』について、私から予算の組み替えを求める動議を提出し、賛成多数で可決されました。

これを受けて市長から見直し内容について発言があり、その内容を踏まえて予算には賛成をしました。見直し後の事業実施については、決算特別委員会で報告を受ける予定です。市長に対しては、今回を契機として今後より多くの理解が得られる予算編成を行なうよう求めました。



## 組み替え動議可決により見直された事業の内容

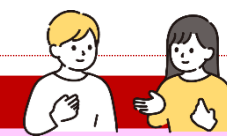


### 片品村カーボンオフセット負担金

片品村の森林整備に対して1年に4百万円の負担金を拠出することで、温室効果ガスの削減活動に投資。

出前講座などの教材として内容を充実させ、二酸化炭素発生抑制の重要性を説明。小中学校に学習支援ツールとしてデジタル資料を配布し、授業で活用する。

### イングリッシュサロン



部活動地域移行推進事業の一環として、文化芸術についての地域クラブ活動である英語クラブを設立。

事業を通じて地域クラブ活動の運営ノウハウなどを他のクラブ設立に活かせるよう、管理体制や受益者負担額、それに伴う補助などの検証を行う。

## 令和6年3月定例会『市民の声あげお』市政報告会

『市民の声あげお』として取り組んできた政策の進捗をご報告するとともに、3月定例会についての議会報告を行います。

5/11 土  
午後2時から

上尾市文化センター  
205多目的室

お申込みはメールもしくは裏面のFAXにて  
▶ebihara116@gmail.com  
※お名前、ご連絡先をお知らせください。



# 市民の声を形に

令和6年3月定例会

テーマ ①歴史・民俗資料の収集・保護、②市政への市民参加、③将来都市像

歴史民俗資料

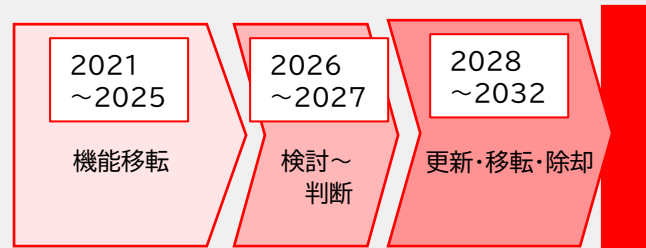
## 文化財保存活用地域計画

文化財保護のための計画策定

**質問** 自治体における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画である『文化財保存活用地域計画』について、上尾市でも策定すべきと考えるがいかがか。

**教育総務部長答弁** 文化財保存活用地域計画は保存及び活用の基本的な方針だけでなく、取組の具体的な内容や計画期間等を記載する必要があることから、今後の課題としたい。

**Point** 文化財収蔵庫の更新予定



現在文化財を収蔵している文化財収蔵庫(大石南小学校)は2032年に更新・移転の時期を迎えるため、これに合わせて文化財保護の体制整備が必要

(出典)上尾市個別施設管理基本計画

将来都市像

## 朝夜の小学校児童の預かり

ニーズ調査結果に基づく施策の立案

**質問(要旨)** 朝9時前、夜7時以降の小学校児童の預かりを必要とする家庭の状況についてニーズ調査を検討していくと答弁があったが現在の状況は。ニーズ調査の結果を受けて対応が必要と考えるがどうか。

**子ども未来部長答弁** 市民を対象としたニーズ調査において、朝9時前の利用希望が7.9%、夜7時以降の利用希望が5.3%だった。来年度の計画策定の中でサービスの必要性を含めて検討していく。

**Point** 預かりが必要な世帯の見込み数

	割合	見込数
朝9時前の預かりサービスを必要とする割合	7.9%	453世帯
夜7時以降の預かりサービスを必要とする割合	5.3%	304世帯

12歳未満世帯員のいる一般世帯数ー6歳未満世帯員のいる一般世帯数=5,737世帯(令和2年度)をもとに計算

(出典)子ども支援課提供資料、統計あげお令和4年度版より海老原作成

## 公文書管理条例について質疑

移管・廃棄

- ・審議会の意見を聴いた上で文書を移管・廃棄
- ・公開制限が必要な場合における移管文書への意見付与

市長から提案のあった公文書管理条例について、保存期間が1年未満の文書について特に取り上げて質疑を行いました。当初の案では、通常所属長の判断と文書所管課長・審議会の確認を経て為される公文書の破棄について、保存期間が1年未満の場合にはこの段階が大幅に省略され、所属長の判断のみで廃棄され記録も残らないとの説明でしたが、委員会審査を経て1年未満文書についてもリストを残すことになりました。

将来都市像

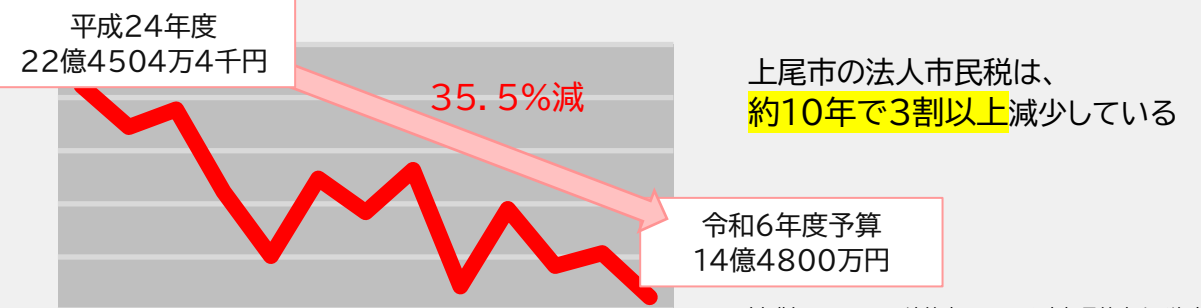
## 特区などの先進的な事業

先進的な事業実施のためのワーキングチーム

**質問** デジタル田園健康特区など、上尾市の施策とも親和性が高いと思われる国の制度がある中で、先進的な事業が実施できるよう全庁的な立場からワーキングチーム等を設置すべきと考えるが見解は。

**行政経営部長答弁** 国家戦略特区制度などの活用に関して、本市において効果が見込まれる施策については、市内の推進体制も含め、検討していきたいと考えているが、リスクもあることからその実施に当たっては慎重に判断していく。

**Point** 上尾市の法人市民税の推移



(出典):H24~R4 決算書、R5・R6 当初予算書より海老原作成

将来都市像

## 支所でのオンライン相談

オンライン相談のための支所の体制整備

**質問** 上尾市ICT化推進計画に基づき、オンラインを活用するなどして、市役所本庁舎に来庁しなくても支所で相談等ができる体制を整備すべきと考えるがいかがか。

**市民生活部長答弁** 市民の利便性向上のためにオンライン相談を進めていくものと認識している。支所での体制整備については、オンライン相談を始める際にはスペースの確保や操作の補助などができるよう取り組んでいきたい。

**Point** ICT化推進計画における記述

### 市民の利便性向上

電子申請、アプリやAIなどデジタル技術を活用したデジタルサービスを充実することで、市民の利便性を向上します。

(参照)『ICT化推進計画』  
こちらの二次元バーコードから計画の内容をご覧ください。



議 会 の ポ イ ン ト

令和6年3月定例会

## ジェノサイド条約の早期批准を求める意見書が可決



『「集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約(ジェノサイド条約)」の早期批准を求める意見書』を提案し、賛成多数で可決されました。ジェノサイド条約は集団殺害を二度と起こさないことを目的とし、現在153か国が締約国となっている条約ですが、日本政府は批准していません。この意見書ではジェノサイド条約批准のため、国内法の整備を進めることを求めています。

請願提出は市民の権利です。提出を検討している方がいらっしやいましたらぜひご相談ください。

